

令和6年度 第1回 藤沢市立大鋸小学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2024年5月29日(水) 9時30分～11時30分

場 所 藤沢市立大鋸小学校 2階 指導室

出席委員	堀河 俊介(会長・保護者) 山崎 晋治(副会長・大鋸小学校校長) 田中 舞(保護者) 大谷 美津子(村岡地区青少年育成協力会大鋸児童館長) 織部 朋子(大鋸地区社体協) 渋谷 幸江(藤沢東部地区主任児童委員) 平石 美和(村岡地区主任児童委員) 金澤 健二(おはようボランティア) 饗庭 寛子(村岡公民館長) 近藤 千鶴(大鋸小学校教頭) <p style="text-align: right;">以上10名</p>
次第	1 開 会 2 委嘱状等の交付 3 自己紹介 4 会長ならびに副会長の選出 5 議 題 (1) 学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)について (2) 令和6年度藤沢市立大鋸小学校学校運営方針及び学校概要について (3) その他 6 その他 ・校内授業参観
協議内容	意見等 <b>*3(1) 学校運営協議会制度について(山崎副会長より説明)</b> ・コミスクのねらいは、①子どもたちの教育活動の充実、②子どもたちを取り巻く課題を考える、③地域力・支援の向上、④教職員の働き方改革であること、そのために「何かをやらなければならない」のではなく、「無理なくやれること、やれたらいいなと思うことをやっていけたらいい」と、聞いて安心した。 ・全体的には「明るく素直で人懐っこく、元気な子どもたち」というイメージだが、一人ひとりを見ると様々な課題を抱えている現実がある。この会で、課題を可視化し、解決策等を考え、感じたこと、把握したことを発信していけるといいと感じた。 <b>*3(2) 学校運営方針及び学校概要について(山崎副会長より説明)</b> ・学校経営方針(グランドデザイン)を見て、今年度、力を入れて取り組みたいこと等がよくわかった。これは、教職員に発信しているものだと言われたが、保護者にも発信し、共有できるといい。

・学校経営方針の具体的なことが、保護者にもオープンになっていたら、距離が近くなるツールの一つになるのではないかと考える。中には、授業参観から足が遠のいている保護者もいる。どうしたら多くの人の目に見てもらえるかということも一緒に考えていきたい。

→学校だより5月号でランドデザインを伝えている。6月号で、経営方針を伝えていく。

・学校教育目標「自らの体験を通して」ということに共感する。児童は、一人ひとりみんな違うし、800人近くいる児童を誰一人取りこぼさずに見守ることは本当に大変なことである。児童館にいても、来てくれる子の様子はわかるが、来ない子は見えない、わからない。いろいろな種類の体験を通して、自分に自信がもてたり、自己有用感を高めたりできるので、そんな機会を増やしていけたらよいと考える。

・いろんな家庭環境があり、様々な児童がいる中でも、学校は、自分の存在感がある場所、楽しい場所であってほしい。そのために、地域で協力できることを協力していきたい。

・子どもがいない家庭などは、特に、学校が外から見えにくいから、先生の考えや業務量など、理解されにくいことがあるのだと思う。特定の人だけがわかっているのではなく、地域の人々が広く理解できるようなシステムを取り入れて、学校と地域がつながるように考えていきたい。

→今年度、学校公開日を11月中旬に設定している。このような機会に、地域の方々にも学校に足を運んで様子を見ていただきたい。

### **\*3(3)その他**

・中学校では、地域の中で職業学習ができなくなり、キッザニアに出かけている状況がある。児童や教職員が地域を知る機会や学習、ゲストティーチャーなどの活用は、どのようになっているか。

→学年ごとに、地域の公園散策や学区探検、ごみの体験学習など、地域に出かけて様々な学習を計画、実施している。ゲストティーチャーについても、活用を始めているが、地域人材の活用はまだまだ少ないため、今後、増やしていけるといい。

次回開催日程 2024年 7月 9日(火)9時30分～

場所 大鋸小学校 指導室